

単元の目標

各ページの FOCUS に挙げられている英語が辞書なしで日本語に訳せる

（ひとまずこれが今の段階では達成できてたら OK です。）

※この分野は二次試験の和訳に出てきたときのためだけに学びます。

★1： 強調 p398-401

[解説①：強調構文]

読んで字のごとく、「何かを強調していいたい」ときに強調構文は使います。日本語にすると「・・・なのは～」という型にはまった訳になります。作り方は p398 の「強調構文をつくる手順」の通りで、

(1) It is ~ that・・・の「～」の部分に強調したい語句をいれる

(2) 残りの部分を that の後ろに置く

で作れます。Ultimate には色々と細かい情報が書いてありますが、「単元の目標」にもあるようにこの分野は日本語に訳せたら OK なので、「・・・なのは～」にはめて訳すことだけを覚えておいてください。これに従うと Focus 172 は

先月ニューヨークを訪れたのは私の兄です。

となります。

[解説②：語句を付け加える強調]

Ultimate p400-402 の情報を順をおって説明します。

📌 動詞を強調する do

日本語訳には反映されませんが、動作を強調していいたいとき、動詞の前に do を入れることができます。例は Ultimate にある通りです。

📌 疑問詞を強調する on earth/ in the world

「いったいどうして」の意味を出したいときはこれを付けます。どちらでもかまいませんが、必ず疑問詞の直後に置きます。

○ Why on earth are you doing such a thing? (いったいなんでそんなことしているの?)

× Why are you doing such a thing on earth?

📌 否定表現を強調する

「まったく」「そもそも」などの意味合いが訳に付与される、否定の強調です。Ultimate にはたくさん紹介されていますが、at all、absolutely、just、by no means の4つだけ覚えていただければ大丈夫です。

[解説③：そのほかの強調]

色々な強調が紹介されていますが、全員にチェックしておいてほしいものは terribly、completely、～and～の3つの表現のみです。覚えておきましょう。

★2： 倒置 p402-405

[解説]

国語でも「倒置法」を習いますが、英語にも「倒置」という文法事項が存在します。英語の倒置は、「主語と(助)動詞の順序が逆になること」を指します。以下の場合、倒置が起こるので、皆さんは「①倒置が起こっていることを見抜けるようになること」「②倒置の文でも日本語に訳せること」を目指してください。

1、文頭に否定語(先日の「否定」のセクション参照)がくるとき

例：Never have I seen such a beautiful sight.

(私はこれまで一度もこんなに美しい光景を見たことはありません)

→neverが否定語なのでその後のI have seeが入れ替わって、have I seenとなります。この場合助動詞がhave、主語がIです。

2、Soが文頭に来的时候。

例：I' m hungry.

So am I.

→もともとはI am soですが、強調したいためSoを頭に持ってきたとき、am Iと倒置が起きます。

3、Hereがきたとき

例：Here comes the bus.

→これは「ほら～が来たよ」と言いたいときくらいにしか使いませんが、一応倒置が起こる例です。

★3：挿入 p406-407

[解説]

英語では「, 挿入表現 ,」の形で文中に色々な表現を挿入することができます。覚えておいてほしいのは、間に挿入されていても訳は間に入れなくてもいいということです。例えば、

Mike, however, never gave up. (しかし、マイクは決してあきらめなかった)

という文章はhoweverが挿入されていますが、この順序通り「マイクは、しかし、決してあきらめなかった」と「しかし」の位置までも挿入した場所を反映する必要はないということです。

Ultimate ではたくさん表現が紹介されていますので、皆さんに覚えておいてほしいものだけを以下でピックアップします。

however, therefore, moreover, for example, in fact, in a sense, on the other hand, by the way, in general, in particular, as far as I know, that is, I think/believe/ suppose, as you know

※以下 p408-416 は実際に大学の2次試験を使って演習しながらの方が効率がいいので今はふれません。